

玉村雅敏（慶應義塾大学 総合政策学部 教授、慶應義塾大学 SFC 研究所 所長）

【略歴】 慶應義塾大学総合政策学部卒業。同大学院政策・メディア研究科博士課程、千葉商科大学政策情報学部助教授等を経て 2005 年より慶應義塾大学准教授。博士（政策・メディア）。

【専門分野】 公共経営、ソーシャルマーケティング、評価システム設計など。

【主な兼職】 地域活性化伝道師（内閣府）、JICA 業績評価アドバイザー、地域力創造アドバイザー（総務省）、天草市・鈴鹿市・市原市・長島町・大崎町・大山町・東川町・吉崎市・鹿児島相互信金庫などのアドバイザーを兼務。

（主な兼務歴）内閣府 経済社会総合研究所 客員研究員、文部科学省 学術・科学技術政策研究所 客員研究員、新潟市政策改革本部アドバイザー、新潟市 都市政策研究所 客員研究員、横須賀市政策研究専門委員、氷見市地方創生アドバイザーなど。



【実践活動】

- ・ [自治体] 地域戦略の立案・推進や官民連携モデル構築の支援、自治体経営システムの再構築や総合計画を核としたトータルマネジメントシステム構築（天草市・鈴鹿市・市原市・滝沢市など）、など
- ・ [評価手法の開発] 社会インパクト評価のシステム構築、生活価値や幸福度の可視化や評価手法の開発、地域のつながりやソーシャルキャピタルの可視化・定量化手法の開発、地域通貨やフィンテック、ミュージアムマーケティング、学校評価、ソーシャルインパクトボンドのシステム設計など
- ・ [地方創生] 氷見市・長島町・横須賀市・天草市の「総合戦略」策定・推進・評価の監修、鳥取県と日本財団で進める地方創生の連携事業の支援等に従事。
- ・ [中央省庁] 少子化対策、交通安全、非行対策、ODA、地域再生等の政策評価手法や、環境省や JICA 等の組織や業績の評価手法の開発、総務省や経産省、内閣府による行政マネジメントシステムの研究開発、科学技術の社会インパクト評価手法の開発等に従事。
- ・ [企業との研究・開発] 企業の CSR 評価、CSV 戦略立案、組織ブランドの社会価値評価、企業コミュニケーション施設やブランドスペースの評価手法開発、ワークプレイスの価値評価など

【主要な実践プロジェクト（近年のもの）】

- ・ 「ぶり奨学プログラム（地域金融機関と自治体等の協働による U ターン支援の奨学パッケージ）」の開発：長島町（鹿児島県）氷見市（富山県）大崎町（鹿児島県）智頭町（鳥取県）鶴岡市（山形県）など
- ・ 自治体経営のトータルマネジメントシステム構築（天草市・鈴鹿市・市原市・滝沢市など）
- ・ 社会価値の可視化プロジェクト：さまざまな地域や領域にて、生活課題や生活価値、幸福度などを、関係者協働で調査し、その「見える化」と「共有化」から協働・共創を促す、政策マーケティングシステムの構築を支援（青森県政策マーケティング、東海市まちづくり指標、ふじさわ未来課題、五反野こども未来ベンチマーク、青森市まちなかマーケティング、日本ラグビー価値の可視化、滝沢ハピネスなど）
- ・ リサイクル留学生プロジェクト（自治体 SDGs とグローバル戦略）：東川町&大崎町
- ・ 「地域おこし研究員」（地域に住み込む大学院生による地方創生の実践モデル）の開発：慶應義塾大学 SFC & 全国 13 自治体等
- ・ 地方創生を評価する「つながりの豊かさ指標」の開発：日本財団 & 鳥取県
- ・ 地域の実情を可視化するモデル構築とシステム開発：横須賀市（神奈川県）、氷見市など
- ・ JICA 国内拠点における地方創生と国際協力の相乗効果の実態調査 など

【受賞歴（主要なもの）】

- ・ 国際協力機構「第 15 回 JICA 理事長賞」（2019 年 10 月）
- ・ 地域活性学会「地域活性学会 10 周年記念学会賞」（2018 年 9 月）
- ・ 電子情報通信学会 HCS 研究会「ヒューマンコミュニケーション賞」（2009 年 3 月）
- ・ 情報社会のデザイン シンポジウム 2006「シンポジウム優秀論文賞」（2006 年 11 月）

【主な著書】

『自治体経営の生産性改革—総合計画によるトータルシステム構築と価値共創の仕組みづくり』（公人の友社 2021 年 編著）

『SDGs の本質—企業家と金融によるサステナビリティの追求』（中央経済社 2020 年 共著）

『ソーシャルパワーの時代—「つながりのチカラ」が革新する企業と地域の価値共創(CSV)戦略』（産学社 2016 年 編著）

『東川スタイル—人口 8000 人のまちが共創する未来の価値基準（スタンダード）』（産学社 2016 年 編著）

- 『総合計画の新潮流—自治体経営を支えるトータル・システムの構築』（公人の友社 2014 年 編著）
- 『社会イノベーションの科学—政策マーケティング・SROI・討論型世論調査』（勁草書房 2014 年 編著）
- 『ソーシャルインパクト—価値共創(CSV)が企業・ビジネス・働き方を変える』（産学社 2014 年 編著）
- 『地域を変えるミュージアム—未来を育む場のデザイン』（英治出版 2013 年 編著）
- 『住民幸福度に基づく都市の実力評価—GDP 志向型モデルから市民の等身大ハッピネス(NPH)へ』（時事通信社 2012 年 共著・監修）
- 『公共の経済・経営学—市場と組織からのアプローチ』（慶應義塾出版会 2012 年 共著）
- 『社会イノベータへの招待』（慶應義塾大学出版 2010 年 共著）
- 『コミュニティ科学-技術と社会のイノベーション』（勁草書房 2009 年 編著）
- 『行政マーケティングの時代—生活者起点の公共経営デザイン』（第一法規 2005 年）
- 『学校評価—情報共有のデザインとツール』（筑摩書房 2005 年 共著）
- 『パブリック・セクターの経済・経営学』（NTT出版 2003 年 共著）
- 『日本型 NPM：行政の経営改革への挑戦』（ぎょうせい 2003 年 共著）
- 『レントシーキングの経済理論』（勁草書房 2002 年 共訳）
- 『行政経営の基礎知識 50』（東京法版 2001 年 共著）
- 『実践・行政評価』（東京法令 2000 年 共著）
- 『行政評価による地域経営戦略～ムルトマ郡におけるコミュニティ・ベンチマーキング』（東京法令 1999 年共著）

